

2025 年 5 月 20 日



各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス テ ム リ ム
代表者名 代表取締役社長 CEO 岡島 正恒
(コード番号:4599 東証グロース)
問合せ先 経 営 管 理 部 植松 周平
(電話番号:072-648-7152)

**再生誘導医薬®レダセムチド(HMGB1断片ペプチド)の
軟骨疾患(外傷性軟骨欠損症、変形性関節症、離断性骨軟骨炎等)を適応症とした
特許登録(欧州)のお知らせ**

当社から塩野義製薬株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役会長兼社長 CEO:手代木 功)へ導出済みの再生誘導医薬®開発候補品レダセムチド(HMGB1¹⁾)より創製したペプチド医薬、開発コード:S-005151)を利用した軟骨疾患(外傷性軟骨欠損症、変形性関節症、離断性骨軟骨炎等)に対する新規治療に係る用途特許について、下記のとおり欧州において特許が登録されることとなりましたので、お知らせいたします。

発明の名称 : 軟骨疾患を治療または予防するためのHMGB1由来ペプチド
(出願時: 軟骨疾患の治療薬)
出願地域 : 欧州
出願番号 : 19875071.3
登録(公告)番号 : 未定
出願人 : 株式会社ステムリム、国立大学法人大阪大学

本特許は、現在開発が進んでいるレダセムチドの適応症の拡大を目的とするものであり、本特許の成立により、欧州におけるレダセムチドに基づく軟骨疾患(外傷性軟骨欠損症、変形性関節症、離断性骨軟骨炎等)の治療薬開発の可能性を担保することができるものと考えます。

欧州 5 カ国(ドイツ、フランス、英国、イタリア、スペイン)は、米国に次ぐ世界第 2 位の医薬品市場を形成しており、2023 年にはグローバル市場の約 14.1%を占める主要地域となっています。日本と同様に少子高齢化が進行するこれらの国々では、高齢化に伴う医療ニーズの多様化・高度化が進んでおり、今後も医薬品市場の成長が期待されております。このような環境下において、静脈注射という、患者負担の少ない投与形態を有する再生誘導医薬®レダセムチドは、今後の医療現場において極めて有用な選択肢となる可能性を有しており、欧州市場における当社の存在感を高める重要な柱となることが期待されます。

なお、本件による2025年7月期通期業績への影響はありませんが、開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上

1) HMGB1 (High Mobility Group Box 1) : 体内の間葉系幹細胞を患部に誘導する細胞の核内タンパク

質の1つ

※「再生誘導」、「再生誘導医薬」、「再生誘導医学」、「再生誘導医療」はステムリムの登録商標です。